

九州地元企業の三松は製造業から設計・製造のインテグレーション企画業務にも取り組みいち早く製造業のサービス化を行っている先進企業である。既に自社アプリケーション(Smash)をグローバルプラットフォームの営業機能に乗せて世界中に拡販を図っている

株式会社三松の基本情報

基本情報	設立: 1972年 / 資本金: 8500万円 / 売上: 23.4億円(2016年6月期) / 従業員: 141名
拠点	筑紫野市本社工場、夜須工場、ベトナム ハノイ設計事務所、中国OPS社(技術供与提携先)
事業内容	シートメタル(薄物板金0.04~26.0mm)加工をベースに各種機械装置の組立(アセンブリ)を行う小ロット製造代行サービス会社「縁の下の力持ち会社」
提供製品	(一例)コインパーキング精算機、半導体装置向けSUS大型筐体、携帯基地局、パワコン局舎、電子材料・検査搬送装置、アミューズ関連溶接モジュール部品

株式会社三松の事業課題

三松のシステム活用による対応策

■ 顧客ニーズの変遷

- 商品サイクル短期化
- 最適生産(コスト・場所等)のグローバル化・アウトソーシング
- リストラによる管理体制や設計ノウハウレベルの低下

■ 市場競争の激化

- 短納期・低コスト・高品質は当たり前の時代に

⇒変種・変量生産対応力と製造代行能力の強化が課題

⇒設計・工程・出荷管理を「匠の技」(人間の勘と経験)だけで行うのは不可能に

⇒ものづくりからサービスへの事業拡大の必要性

① 世界的なCADプラットフォームに対応したアプリケーションの開発・展開:プラットフォームを活用した「匠の技」サービス化・展開事例

- 世界的なCADプラットフォームであるSolid Workで連携可能なアプリケーションソフト「Smash」を外販している。CADで作成された3Dモデルをバーチャル上でシミュレーションすることが可能。
- 自社で開発したシミュレーションソフト「Smash」が、Solid worksのカタログに掲載され全世界に展開されている。

② 3D CADを活用した設計・開発サービス事業を展開:製造業のサービス化事例(モノづくり依存からの脱却)

- 3D CADの技術・ノウハウや、FA機器・ロボット搬送装置などの設計・開発サービスを展開

③ 台車管理システムの導入(Panasonicと連携)

- 台車の動きから積載されたモノの流れを把握し、リアルタイムでの工程の見える化、想定以上の時間がかかっているなどネックになりがちな工程の特定に繋げるためにPanasonic「Location Data Analyzer」を導入